

令和4年5月17日

令和3年度 特別の教育課程の実施状況等について

栃木県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
足利市立御厨小学校	足利市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表	学校関係者評価結果の公表
足利市立御厨小学校	https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/soshiki/a95/	https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/soshiki/a95/

2. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

本市全小学校において、平成15年度より取り組んできた英会話学習の内容と外国語活動・外国語科の内容を関連づけた独自の年間指導計画を作成し、「話すこと」「聞くこと」に特化した指導を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。

必要となる教育課程の基準の特例については、「【教育課程特例校】特別の教育課程の実施状況等について（足利市）」を参照。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- ・実施していない

(3) 自校における評価

評価の観点	評価
○ 第1学年からの英会話学習の実施が英語によるコミュニケーションの基礎的な能力の育成につながっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年からネイティブな発音による英会話に触れ、知覚・感情・思考を刺激されることは、日本語との違いに気づき、コミュニケーションの基礎的な能力の育成につながっていると考える。
○ 第1学年からの英会話学習の実施は、英語に慣れ親しむことにつながっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童は Teachers talk で英会話を聞き、その後、繰り返し言い慣れるような活動や歌やゲームなどを通して、英語に慣れ親しんでいる。 ・足利市のプランをもとに、音声を中心とした活動（聞くこと・話すこと）を実施しているため、英語に慣れ親しむことにつながっている。
○ 第1学年からの英会話学習の実施によって、外国語や外国の文化に対する興味・関心が高まっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・英語特有の音に気づき、慣れる活動、Lets try や Here we go などの教材にある英語圏と日本の文化のちがひ、ハロウィンやクリスマスなどの行事、英語チャレンジ DAY での体験、ALT や EAA の母国紹介を通して、外国語や外国の文化に対する興味・関心が高まっている。 ・「そうなんだ!」「何で?」「次は?」など、知りたいと思う児童の反応が多く見られる。
○ 第1学年からの英会話学習に期待すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・英語を聞き取る耳を育てる。 ・英語を日本語に置き換えず、理解しようとする習慣をつくる。 ・外国の文化に親しむきっかけになる。 ・英語への苦手意識をもたせることなく、「英語の時間は楽しい」と思えるそのきっかけとなる時間にする。

(4) 学校関係者による評価

〈児童〉 アンケート結果より

○プラス面

- ・「英会話学習」「外国語活動」「外国語」の時間が楽しい、好きだと答えた児童が9割以上。
- ・ペアワークやグループワークなど友達と協力して楽しく英語を学べる。
- ・以前より英語が聞き取れるようになったと感じている児童が増えている。
- ・EAA や ALT と同じように発音ができ、「英語を話しているなあ」と実感し、うれしさを感じている児童が増えている。
- ・Yes/No だけでなく、あいさつや天気など学習した英語を用いて言いたいことを伝えようとしている。
- ・会話をするとき、相手が聞き取りやすいように聞こえる声で話したり、目を見て会話をしたり、相手を意識して会話をしている。

- ・EAA や ALT とすれ違ふと英語で挨拶をしたり、給食の配膳を一緒に行ったり、休み時間に一緒に遊んだりするなど、学習以外で関わる児童が増えている。

○改善点

- ・発表に恥ずかしさや難しさを感じている児童が、学年が上がるにつれ増えている。
→発表形式の工夫や各単元のまとめの仕方を考える。
- ・英語を書く機会が増える5・6年生では4線を意識して書いたり、大文字と小文字を区別したり単語を書き写したりすることに苦手意識をもつ児童が一定数いる。
→書く時間を毎回少しずつ位置づける。間違いを指摘しすぎない。
- ・リスニング（音のみ）への抵抗がある。
→すべて聞き取る必要はないこと。聞こえる単語を増やしていくことをその都度伝える。
→できるだけ視覚化して、理解を促す。
- ・覚えられないと感じている児童が一定数いる。
→英語に触れる機会を日常化していく工夫が必要。
- ・英会話学習の内容を日本語で理解できないとわからないと感じている児童が一定数いる。
→日本語に置き換えずに理解できるよう、視覚化したり、Teachers talk や場面設定の工夫が必要。

〈保護者〉 アンケート結果より

項目	結果 ア 思う イ どちらかといえばそう思う ウ どちらかといえばそうは思わない エ 思わない
○ 1年生から英会話学習を実施することは、英語によるコミュニケーションの基礎的な能力の育成することにつながっていると思いますか。	・ア64.3% イ31.8% ウ3.0% エ0.9% アとイを合わせた肯定的な評価は約96%である。9割以上の保護者が1年生から英会話学習をすることは英語によるコミュニケーションの基礎的な能力の育成につながると考えている。
○ 1年生から英会話学習を実施することは、英語に慣れ親しむことにつながっていると思いますか。	・ア77.0% イ21.3% ウ1.2% エ0.5% 肯定的な評価は約98%である。そのなかでも約77%の保護者はアと答えている。ほとんどの保護者が1年生から英会話学習を実施することは英語に慣れ親しむことにつながっていると考えている。
○ 1年生から英会話学習を実施することは、外国語や外国の文化に対する興味・関心を高めることにつながっていると思いますか。	・ア64.0% イ31.5% ウ3.7% エ0.8% 肯定的な評価は約96%である。多くの保護者が1年生から英会話学習を実施することは、外国語や外国の文化に対する興味・関心を高めることにつながっていると考えている。

○ 英会話学習に期待すること。

- ・英語学習をするならば、会話を重視した学習にしてほしいと思います。音から入って、後に文字の方が身につけやすいと思います。

- ・授業以外の時間も英語でコミュニケーションをとれるようにしてほしい。
- ・英語を学ぶというよりも、英語に親しむこと、英語を話す人に慣れることが第一歩だと思っています。苦手意識は慣れていないところから生まれる。なので、楽しく英語に慣れて欲しい。歌ったりゲームしたりそこから親しんでほしい。
- ・低学年のうち、遊びの中での英会話で興味が向いてくれたらという感じで、必ず覚えなくてはになると苦になっていくので、興味や関心を広げてくださる時間はありがたいと思います。
- ・英語を楽しみながら、学べたら良いと思います。
- ・国語と同じ時間数を時間割に組み込むべきと考えております。先進国で、しかもこの時代に英語が片言しか話せないのは違和感しかありません。現在の英会話学習やタブレットの導入も同じですが、すごく中途半端なやり方。時間の無駄で子供達を混乱させるだけです。やるなら、義務教育内で学習した内容が仕事で使えるくらい徹底的にやらなくては意味がないと考えています。
- ・英語を聞き取れるようになって、英語でこたえられるようになってほしいです。
- ・外国の方との触れ合う機会を増やしてほしいです
- ・外国人講師に対して個々が発言しやすいように、生徒を少人数のグループに分けるなどできれば良いと思います。リスニングにも集中できる環境で学んで欲しいと思います。
- ・娘が学校の英会話学習で教わった外国のジャンケンを弟に教えていました。他の言語や文化を知ることで、自分と違う者を受け入れたり、日本についての探究心を育むきっかけになればいいなと思います。
- ・親世代の英語教育に比べればはるかに進化し素晴らしく学校や先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。発音(フォニックスや発音記号)の学習により一層力を入れていただければ子供たちの英語力向上の一助になると思います。特に低学年は発音を身につけるのにとってもよい年齢です。日本語のアクセントが悪いわけではなく否定するつもりは全くないのですが、発音できない音は聞き取れないと言われているので発音のシステムを勉強し身につけられたらきっと子供たちの未来に役に立つだろうと思います。”
- ・子供たちが外国の方たちとコミュニケーションが取れる機会が有れば良いと思います。
- ・ネイティブ先生の発音を良く聞き、会話力を身に付けて欲しい。
- ・英会話を通して、異文化に触れ興味の範囲がひろがるといいなと思います。
- ・文法だけではなくて、英語で日常英会話できる様になってほしい。
- ・小学校のうちから英会話の学習があると、発音良く覚えられているのと、ゲームや遊びを交えてくれるので楽しく学習できていると思う。
- ・どうしてもカタカナで英語を覚えてしまいがちなので、少しでもネイティブな発音の英語に触れる事は、とても良いと思います。
- ・家でも簡単な単語をたまに使うので、興味を持ってるので、とてもいいと思います。
- ・日常会話程度を話せる基礎を身につけて欲しい。
- ・できればですが、スペルと発音の関係を小さい時から、教えていただきたいです。
- ・読み書きよりも、ヒアリングを重視した学習を期待したい
- ・記述も必要かと思いますが、6年間しっかり学ぶのであれば、日常会話くらいは出来るようになって欲しいと思います。

- ・リスニングや発音など会話能力を身につけてほしい。
- ・中学校で英語が嫌いにならぬよう、楽しい授業、ふれあいであってほしい。
- ・構えることなく、楽しみながら英会話を学んでほしいと思います。
- ・外国の人とも英語でコミュニケーションがとれるように、実際に使える英語を身につけてもらいたいです。
- ・中学校に向けた準備をしっかりと身につけつつ、文法で嫌にならないよう、今のうちに英語の楽しさを身につけてほしい。
- ・選択肢は一つじゃ無いという事を知ってもらいたい。
- ・将来役に立つ英語力を期待します。
- ・日本語以外の言語への関心を持ってもらえたら嬉しいと思います。
- ・相手が誰であっても、コミュニケーションを楽しむことを基本に学習が進められること。
- ・沢山英語で話をするに慣れてもらえたらと思っています！
- ・色々な事に挑戦し、自信に繋がると思うので、沢山英語にふれて欲しいなと思っています。
- ・子ども達が苦手意識を持たないように歌やゲームなどを取り入れて楽しく英語を身につけることができたら良いと思います。
- ・子供たちの学習風景を見学したことないためどんなことをしているのかよくわからない。英語の授業と英会話の違いがわからない。
- ・英会話授業の参観が出来るといいと思います。学校でどのような学習をしているか、子供が英会話にどれぐらい慣れ親しんでいるかを見てみたいです。
- ・ネイティブの先生と日本語なしで会話する時間をたくさん持つこと。
- ・自分を表現すること。コミュニケーションを取ろうとする気持ちを育てて欲しい。
- ・外国の文化に慣れ親しんで、海外に気軽に行けるようになってほしいです。
- ・ECC で勉強していますが”英語を学ぶことが楽しかったり、好きになるきっかけになるような授業をしていただけたら嬉しいです。
- ・もう少し低学年から英会話についての学習時間を増やしても良いと思います。
- ・挨拶を英語で言えたら良いと思います
- ・中学での学習に入りやすい。英語を身近に感じる。
- ・英語の歌を知りたい、歌いたい。と言ってます。
- ・なぜ必要か、話せたらいいよってという未来の姿を子供が楽しみにできるようにしたい。
- ・英語で話すことに対する苦手意識が出ないと嬉しい。
- ・聞く力が伸びることを期待します。”
- ・英語を学習をすることで、興味を持ち、積極的にもっと学んでみたいと思うようになってくれたら良いなと思っています。
- ・ネイティブな英語を沢山聞かせて欲しいです。教科書での学習よりも沢山会話を楽しく授業で行ってほしいです。
- ・ゲームや歌などで、勉強できると楽しいようです
- ・英語の時間は日本語なしで学べて行けたら良いなと思います。
- ・小さいうちから授業をすれば、簡単なことから始め楽しみながらになると思うので、抵抗や苦手

意識が少ないと思う。ただ、一年生のうちは、まずは日本語、ひらがなやカタカナをきちんと学ぶべきなのかなと思う。

- ・英語に無理なく自然な形で興味を持ち続けて学習してもらいたいです
- ・国語力の育成が全ての教科の基礎だと思しますので、バランスのとれた指導をお願いいたします。
- ・コマ数が増え、継続的に学べたら良いと思います。
- ・単語も多く学べたら良いです。
- ・英語が楽しいと感じてもらえるようになってほしいです。本人が楽しいと感じたら、外国のこととかにも興味が出ると思います。
- ・日常会話ができるようになればいいと思います
- ・母国語以外の言語があることを早い学年で触れる機会を与えて頂ける事はとても有り難いです。英語会話をきっかけに英語や海外の事に興味湧いてくれたら、親としても嬉しいことです。
- ・英会話に行っていないので、英会話学習を経験し勉強出来るのは凄くありがたいです。聞く力、返事をする為に色々考えれるしそこで英語に興味を持ってもらえたら選択も広がると思います。
- ・外国の方と直にコミュニケーションをとり、より実践に近づけられると良いなと考えます。
- ・幼稚園時期から、保育や授業内で英語に触れてきましたが、未だアルファベットも書けません。読めません。なので、やはり基礎的な学習は学校以外でやらなくてはいけない状況にあると思います。
- ・分からない事を恥ずかしがらないで、積極的にコミュニケーションをとれるようになって欲しいです。
- ・学習する中で、馴染めないお子さんに対する対応をどうするのか？また、学習をする以上、学年が上がる度に日常会話的なものが身につく事を期待したい。最後に現在もそうですが、今後は今以上に必要となることを想定します。”
- ・毎日少しずつでも英語を聞き、耳が慣れるような習慣を作って貰えたらいいなと思います
- ・日常生活で会話出来たらいいと思います
- ・簡単な言葉を覚えてさせたいです
- ・何でも子供のうちに学べるのは、いいと思います。耳から聞く力がつく。
- ・日本語とは違った表現や文化に興味を持ち、楽しいと思えるようになれば良いと思います。
- ・学校で聴き覚えた単語や文を先入観無しにきこえたように発音していてそれが実際の発音にかなり近いのですごいなと思います
- ・私達のように、試験のための勉強ではなく、公用語として世界的に通用する会話能力が自然と身に付いていけるような環境であれば喜ばしいものです。
- ・教科書の英語だけではなく、英会話ができるようになることを期待しています。

4. 実施の効果及び課題

<効果>

- ・児童はEAAやALTの存在を身近に感じている。
- ・EAAやALTに英語であいさつしたり、一緒に遊んだりしたり、進んで関わろうとする

児童の姿を見ることができる。

- ・授業で早くから外国語に触れ、違う文化を感じ続けていることにより、外国籍の友達に対しても違いを尊重しながら、学校生活を送ることができている。
- ・児童は授業を通して英語への親しみや楽しさを感じている。
- ・児童はくり返し用いる表現（あいさつや体調、天気、曜日、季節など）を習得することができている。
- ・英語を使って言いたいことを伝えようとする児童が増えてきている。
- ・Teachers talk や音声教材を繰り返し聴くことによってリスニング力がついてきている。
- ・学級担任と EAA・ALT とのにより、児童は担任がいる安心感を得て、自分を表出しやすい環境の中、英会話の授業を受けることができている。
- ・コロナ禍で活動の制限があっても、ALT・EAA が活動を工夫し、教材づくりを惜しみなく行ってくれたおかげで、児童の英会話学習への意欲が持続できている。
- ・ジャストスマイルドリル（タブレット学習）で、英語を積極的に選んで学習を進める児童が学年を問わず多い。

<課題>

- ・英語の日常化や授業時数の確保など、英語に触れる機会を増やすこと。
- ・ALT や EAA との打合せや教材研究の時間を確保すること。
- ・児童が英語への苦手意識を軽減する手立てを考えること。
- ・学習した英会話を日常の中で少しでも使えるようにしていくこと。
- ・小中連携。（教職員の交流・カリキュラムのつながり等）

5. 課題の改善のための取組の方向性

- ・決まった打合せの時間だけでなく、HRTとALT・EAAの日頃からの連携を強化する。特にHRTからコミュニケーションを図るようにしていく。
- ・行事の精選や準備の簡素化、教育課程の工夫等を行い、教材研究の時間を確保する。
- ・英語を使うことの日常化を図る。
（あいさつ、天気、曜日、日付、季節だけでなく、学習内容を日々の学習と連携させていく。）
- ・英会話学習、外国語活動、外国語科の時間における系統性や目指す児童像、身に付けさせたい資質・能力について、職員の間で共通理解を図る。
- ・英会話学習、外国語活動、外国語科の時間の確実な実施を行う。
- ・英語チャレンジDayをその日だけの取組にせず、そこでの経験を事後の生活や学習の中で生かすようにしていく。
- ・小学校での学びを中学校で生かす取組（①お互いの授業参観や中学校の先生による出前授業、②小学校で学んだ表現と中学校で学ぶ表現のプログラム作りなど）を進めていけるようにする。